

# SLyDIFIを使ってみる

Taro Morita

2022/10/18

# SAT<sub>Y</sub>SF<sub>I</sub>で文章を書いてみる

---

- SAT<sub>Y</sub>SF<sub>I</sub> は静的型付きが備わった組版処理システム
- 柔軟で可読性が高い
- 静的型付けによって詳細なエラー報告を実現
- L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X + Ocaml というアイデア

# 文章をコードで書いて何がいいのか

---

- git によるバージョン管理
- デザインを気にしなくてもそれなりにきれいに出力できる
- 論文サイズでもサクサクかける
  - word だと画像張りまくるとすぐフリーズ
  - D 論提出直前にフリーズでデータ破損は結構当たり前だった

# SATySF<sub>I</sub>のいいところ

---

- Language Server による補完がめっちゃ効く
  - VSCode もちゃんと対応してる
- コンパイルがめっちゃ早い (?)
  - L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X に比べたらめっちゃ早い

# 画像も貼れる

---

- 画像も貼れる



# 実際のコード

---

- コードも貼れる

```
document '<
  +frame{\SATySFi; で文章を書いてみる}<
    +listing{
      * \SATySFi; は静的型付きが備わった組版処理システム
      * 柔軟で可読性が高い
      * 静的型付けによって詳細なエラー報告を実現
      * \LaTeX; + Ocaml というアイデア
    }
  >
>
```